

2024年 第60号
とことん面倒見のよい学校
中央カレッジグループ

学園新聞

中央情報経理専門学校
群馬法科ビジネス専門学校
中央医療歯科専門学校太田校
専門学校 中央農業大学校
専門学校 中央情報大学校
高崎ビューティモード専門学校
中央動物看護専門学校
中央医療歯科専門学校高崎校
中央スポーツ医療専門学校
中央高等専修学校
(クラーク記念国際高校連携校)

CRI 中央外語学院
資格の学校 TAC群馬校

中央カレッジグループ学園新聞編集委員会 <http://www.chuo.ac.jp>
〒371-0844 群馬県前橋市古市町1-49-1 TEL.027-253-1105(代) FAX.027-253-1124

中央情報大学校 中央情報経理専門学校 中央医療歯科専門学校高崎校

外国人留学生キャリア形成促進プログラム

文科省が3校を認定

専門学校の留学生に対し幅広い職種への道を開く文部科学省の「外国人留学生キャリア形成促進プログラム」の初年度認定校に、中央情報大学校、中央情報経理専門学校、中央医療歯科専門学校高崎校の3校が選ばれました(決定・公示2024年3月29日)。同プログラム認定校となったのは全国の専門学校約2700校のうち190校足らずで、群馬県内で認定されたのは4校だけ。そのうち3校が中央カレッジグループの専門学校でした。その背景には、これまで3校が教育や就職において質の高い結果を残してきたことがあります。

就きたい仕事へ道開く

現在、専門学校に通う留学生は学んだ関連分野のみにしか就職できないと、制限されています。しかしこの「外国人留学生キャリア形成促進プログラム」では、文科省が認めた留学生への質の高い教育に取り組んでいる専門学校を認定し、知識・技術が大学生と同等の基準とみなし、就きたい仕事への道が開かれるようになります。

これにより、外国人留学生は、より

高い資格への挑戦やより高い技能の修得への意欲、日本社会の理解を大きく高められます。

また日本人学生にとっても、日本にいながら異文化や異なる価値観を学ぶことができるメリットがあります。本学園はグローバルな社会で活躍できる学生の輩出を視野に、この認定を絶好の機会ととらえ、学生の学びを全力でサポートしていきます。



学習に励む留学生

全校にCCEL(共通カリキュラム)を導入

有坂中央学園は、本年度からグループ全校にCCEL(共通カリキュラム)を導入しました。

CCELとは『CHUO Competence for Empowerment to Live—自分らしく生きる能力を強化するプラン—』から名付けられました。学園が80年にわたり実践してきた職業教育を踏まえ、急激に変化する現代社会に対応、「今」求められている知識・スキル・業務遂行力を定義して、両者を掛け合わせたカリキュラムを体系化したものです。既にCCELのエッセンスをまとめたクレド=写真=をグループの全教職員及び在校生に配布しました。

共通カリキュラムとクレドの作成にあたり、共通カリキュラム推進室が各校へのヒアリングなどを行い、本学園の学生が目指すものを改めて定義しました。

その目的は「学園の理念を浸透させ



る」「より社会に求められる人材を育成する」「社会で活躍できる基礎力の底上げを図る」こと。そのために3領域と18のコンピテンシーを定めました。

【3つの領域】

- 豊かな人間性：敬意を持ち、自主・自律を実現する
- 創造的な協働力：他者を認め対等な立場で協力して働く力
- 高度な専門性

今後、学園祭やCSCPなどの行事、授業などで学生の18のコンピテンシーを育み、理念を浸透させ、社会に求められる人材育成に取り組みます。

9校合同で入学式

781人が仲間入り



盛大に行われた9校合同入学式



新入生代表が決意を誓う

中央カレッジグループの専門学校9校の令和6年度合同入学式が4月11日、ベイシア文化ホール(県民会館)で行われ、781人が新たに仲間に加わりました。

この日入学式を行ったのは中央情報経理、群馬法科ビジネス、中央医療歯科太田校、中央農業大学校、中央情報大学校、高崎ビューティモード、中央動物看護、中央医療歯科高崎校、中央スポーツ医療の9校です。

中島慎太郎理事長、各学校長を前に、校名・学科名、対象入学者数が読み上げられ、中島理事長が入学許可を宣言しました。

来賓代表の内田善規・群馬県中部振興局長、金子昌彦・県商工会議所連合会長(前橋商工会議所会頭)の祝辞、在校生歓迎の言葉を受けて、新入生代表の9人が登壇、目標である国家資格や各種検定への合格などへの熱い思いを誓いました。

1500人が10種目に熱戦展開 第5回スポーツフェスティバル

中央カレッジグループの9専門学校の学生・教職員約1500人が参加した第5回スポーツフェスティバル2024が、7月3日に高崎アリーナで開かれました。

同フェスティバルは、スポーツ競技を通して各校との交流やクラスの親睦を図ることなどを目的に開催されています。

競技種目は「大玉送り」「徒競走」「大縄跳び」「玉入れ」「綱引き」「団対抗リレー」「ドッジボール」など10種目。学生たちは学校連合チームなど8チー



応援にも熱が入った団対抗リレー

ムを組織し、各種目に熱戦を展開しました。結果は、僅差で青チーム(CSM、CMS)が優勝しました。

学校法人 有坂中央学園 群馬県指定 保育士養成施設

CIA 中央情報経理専門学校

〒371-0844 群馬県前橋市古市町1-49-4 TEL.027-253-5544(代) FAX.027-254-0605

www.chuo.ac.jp

CHUO

中央カレッジグループ

第167回 日商簿記検定

第167回日本商工会議所簿記検定1級(6月9日実施)において、中央情報経理専門学校の篠田裕輝さん、船津光希さんの2人が見事合格を勝ち取りました。全国合格率は10.5%という難関な試験にも関わらず、日々の努力を怠ることなく果敢に挑戦した結果、素晴らしい成果を残すことができました。特に船津さんは1年次の合格となり、入学から2カ月で日商簿記1級合格となりました。

日々の 努力実る

2人ともに8月6日に行われた国税庁税理士試験にも挑戦しており、今後の更なる活躍が期待されています。



日商簿記1級に合格した篠田さん(右)と船津さん(左)

で学習を円滑に進めることができました。今回合格できたことはうれしき、驚き、安心などさまざまな思いがありましたが、何より自信につながったと感じています。税理士試験も合格できるように努力を積み重ねていきます。

指導した雲越幹久先生コメント 税理士試験も期待

篠田さん、船津さん、合格おめでとうございます。2人の合格は自分のことのようにたいへんうれしく感じています。篠田さんは1年次の時に、あと1点足らず不合格となってしまった経緯があり、まずは安心するとともにあきらめずに挑戦してくれた意志の強さに感銘を受けました。船津さんは1年次合格という素晴らしい結果を残してくれました。日ごろの学習に意欲的な姿勢は他の学生の模範になるものであると感じています。税理士試験でも、ぜひとも合格を勝ち取ってくれることを期待しています。

IT会計ビジネス学科
IT会計スペシャリスト専攻2年

篠田 裕輝さん
(東京農大二高出身)

1年次の悔しさを糧に合格

1年次に受験した日商簿記1級はあと1点足らず不合格となり、非常に悔

しい思いをすることになってしまいました。税理士試験と並行して日商簿記1級の学習を進めることは大変でしたが、前回の悔しさをバネに乗り越えることができました。合格発表日は結果を聞くことがとても不安でしたが、合格という結果を聞いて安心しました。次は税理士試験科目に1つでも多く合格することを目標に頑張っていきます。

経営ビジネス学科
会計スペシャリスト専攻1年

船津 光希さん
(前橋商業高校出身)

入学前から1級の学習

本校に入学する前から独学で日商簿記1級の学習を進めており、受験も経験しましたが思うような結果が出ませんでした。入学後は、2年次クラスの授業に加えていただき1級の学習ができたこと、また、放課後に分からないところの質問対応を行ってくれたこと

9カ国から70人が入学

国際ビジネス学科の留学生

本校の国際ビジネス学科に、本年度70人の留学生が入学、すでに学習や行事など学生生活を楽しんでいます。

全国的に、新型コロナウイルス感染拡大に伴って留学生が激減していた状況でしたが、ようやく感染状況も落ち着

いたことで、本校にも留学生が戻ってきました。

特に本年度は、多くの留学生が入学したことで、学園全体もにぎやかになりました。出身国も9カ国と多彩で、このうちネパールとベトナム出身者だけで50



授業を受ける留学生たち

を数えます。

日本留学にあたり、それぞれ夢を持って入国してきた学生たち。その中で本校を選んで入学してきた留学生を、私たち教職員は大切に育てていきたいと思っています。



入学2カ月で日商簿記2級に合格した学生たち(右端が指導の雲越幹久先生)

日商簿記2級に5人合格

入学2カ月、簿記初心者も

経営ビジネス学科会計スペシャリスト専攻1年の学生たちが、6月9日に実施された第167回日本商工会議所簿記検定2級を受験し、5人合格という結果を残すことができました。前橋商

工会議所管内の合格者は7人、うち5人が本校学生でした。

今回、入学後わずか2カ月で合格した学生の中には、本校に入学してから初めて簿記を学習する学生もいましたが、短期間で合格に向け、努力を重ねました。もちろん初めての学習内容でしたが、気後れすることなく果敢に挑戦し、合格を勝ち取ることができました。

▽次の目標は1級合格

会計スペシャリスト専攻では、毎年1年次11月に実施される日本商工会議所簿記検定で1級を受験し、合格を目指すとともに、2年次では税理士試験の受験も控えています。

1級や税理士試験でも良い結果を残せるよう努力を重ねていきたいです。



「そろばん」の授業を初体験する留学生

国際ビジネス学科では、本年度から計数感覚を身に付けるために良いとされる「そろばん」を、留学生の専門科目(珠算)に加えしました。

群馬県珠算連盟の協力で、指導講師を派遣していただき、基礎から学んでいます。

「そろばん」学習は、留学生にとって初めての経験ですが、講師の優しく丁寧な指導で、楽しんで取り組んでいます。

学生たちの感想としては、「初め

て見ましたが計算するものとは知りませんでした」「形がおもしろい」「珠(たま)を指で動かすのが楽しい」などさまざま。中でも、「楽しい」

留学生に、そろばん授業 珠算連盟が指導協力

という感想が一番多く寄せられています。

留学生には、この機会に日本の伝統文化を知り、「そろばん」学習を

通して、発想力や論理的な思考力を身に付けてもらいたいと考えています。

「前橋日赤」の先輩と 共同卒業研究で座談会



前橋日赤の先輩と学生たちの記念撮影



ミニ座談会で先輩から現場ならではの話を聞く学生たち

医療福祉秘書学科2年生26人

「前橋赤十字病院の先輩と共同卒業研究へ」。本校の医療福祉秘書学科2年生26人が5月20日、前橋赤十字病院に勤務する卒業生との座談会に参加し、質疑応答などをしました。

この会は、前橋赤十字病院との教育連携による初めての共同卒業研究をスタートさせることにあたって医療現場で働く卒業生との座談会を実施したものです。

冒頭で同病院に勤務する新入職員も含む卒業生10人が紹介されました。その後、事務部医事入院課、医師事務サ

ポート課、診療情報管理課に勤務する7人の卒業生を囲んでミニ座談会に移り、患者の個人情報保護のための取り組み、医師や病院職員の勤務時間軽減のための業務の効率化、外国人患者への対応、医療事務員のキャリア形成についてなどの改善課題について具体的に説明を受けました。

今後学生たちは、この座談会の内容を参考に卒業研究のテーマを決め、来年3月の発表に向け具体的研究をスタートさせます。

貴重な現場体験を

医薬販売学科新入生(3期生)が「長期有償型インターンシップ」

「医薬販売の現場で実学を!」。医薬販売学科では今春入学した3期生12人が、5月中旬からドラッグストアでの長期有償型インターンシップを体験しています。

医薬品登録販売者になるためには試験合格と薬の販売店で実務経験を積む必要があり、当学科では在学中の2年間に両方を叶える仕組みを採用し、即戦力として活躍できる学生の教育を行っています。

学生たちは主に午前中を学校で過ごし、午後は実店舗で有償による実務経験を積んでいます。学校でインプットを行い、店舗でアウトプットができ、効率よく知識を磨いています。

今回のインターンシップでは、従来の教育連携先である株式会社クスリのマルエ(マルエドラッグ)で10人が、今年新たに協力をいただいたウエルシアホールディングス株式会社(ウエルシア)では2人が、それぞれ現場に立ち、貴重な体験をしています。



医薬品販売現場に立つ学生

学生たちは、医薬販売の現場で地域の健康を守る職業人を目指して具体的な実践体験を積むことにより、次のステージへの飛躍が期待されています。

本学科では、1期生が今年3月に卒業し、すでに正規医薬品登録販売者として県内のドラッグストアで活躍しています。

保育福祉学科が2年制移行

保育福祉学科が、約20年継続してきた3年制による保育人材養成から教育課程を変更し、群馬県の指定保育士養成施設となり、本年度入学生から2年制に移行しました。

本校の保育士育成の取り組みは、平成13年にさかのぼります。当初は保育分野(医療介護秘書科チャイルドマインダーコース)から始め、その後、保育福祉学科(3年制)として、近畿大学九州短期大学通信教育部との併修制度を取り入れ保育者養成を進めてきました。今では多くの卒業生が保育園や幼稚園、認定こども園、福祉施設などで活躍

県指定の保育士養成施設に

しています。

今回の教育課程変更の特徴は、近畿大学九州短期大学との連携は変わらず、2年間で保育士資格と幼稚園教諭二種免許状を取得できる専攻で、これからの幼・保連携時代に対応します。また、群馬県の指定保育士養成施設になったことで、保育士資格は本校卒業で取得が可能となりました。

保育士資格+福祉・スポーツに特化した専攻など、今後も実践的な授業と少人数制のきめ細やかなサポートで、保育現場で即戦力となる技術や力を養っていきます。



企画・運営を担った「浴衣で彩るコンテスト」

「浴衣で彩るコンテスト」

学生主体で企画・運営 前橋市観光政策課と連携

経営/情報ビジネス学科の1年生は、前橋市観光政策課と連携した授業の集大成として、「浴衣で彩るコンテスト」を8月3日に前橋市臨江閣で行いました。

この授業は『浴衣でまえばし2024』を盛り上げるため、学生たちが主体となって企画、準備、そして当日の運営まで行ったイベントです。企画に賛同くださる店舗の取材を行い、賛同店マップを作成。各店舗での取材の様

子をSNSで発信し、当日まで準備をしてきました。

会場の臨江閣は結婚式の前撮りでも大人気の施設であり、日本の和を感じ、浴衣がととても映えるスポット。

その大広間に設置された特設会場で、子どもから外国人まで約10人の参加者は、自慢の浴衣を着てアピール。優勝賞品の白井屋ホテルアフタヌーンティーペアチケットを懸けて、浴衣に関する熱いエピソードを発表しました。

参加者には、ひと夏の思い出体験、学生たちにとっては、自治体との連携という学びの場となりました。

「しゅんしゅんクリニックP」さん オープンキャンパスのゲスト

お笑い芸人がエール



お笑い芸人招いたオープンキャンパス

7月20日のオープンキャンパスで、高校生と在校生・卒業生が交流会を開きました。スペシャルゲストに、前橋市出身で群馬大学医学部卒業の医師で、吉本興業のお笑い芸人としても活躍している「しゅんしゅんクリニックP」さんを迎え、お馴染みのヘイヘイドクターのネタを披露していただき、会場は盛り上がりしました。

「しゅんしゅん」さんはお笑い芸人の傍ら、現在もクリニックに勤務していて、医療事務に助けられながらお仕事をしているそうです。また、コロナ禍を経験しながら、医療業界で人の

役に立つ仕事を目指す若者に、エールを送っていただきました。

参加した学生の中には、「しゅんしゅん」さんが卒業した群馬大学医学部の附属病院や勤務先近くの上尾中央総合病院に就職が決まっている学生もおり、医師、看護師、医療職種がつながりながら医療を提供しているということを改めて感じたようでした。

同日開催の、業界まるわかりトーク会では黒沢病院、前橋赤十字病院に勤務する卒業生から医療現場での話を聞くことができました。

学校法人 有坂中央学園

GLC 群馬法科ビジネス専門学校

〒371-0844 群馬県前橋市古市町1-48-1 TEL 027-256-7700(代) FAX 027-256-8811

www.chuo.ac.jp

CHUO

中央カレッジグループ

令和6年度 公務員試験

令和6（2024）年度前半の公務員試験（主に大卒・短大卒、早期募集）が始まり、本校学生の受験結果が続々と報告されています。7月下旬の段階で最終合格者が60人を超え、今後も続々と合格が出る見込みです。この実績は、日ごろの学生の努力と教職員一体となった指導が身を結んだものです。

最終合格早くも60人超え

一次合格者は120人以上

まだ最終合格が発表されていない公務員を合わせると1次試験の合格者累計は120人を超えています。9月をメインに実施される高卒程度の公務員試験1次試験に向け、この勢いを持続さ

せていきたいところです。

最終合格者の内訳は、神奈川県警察官3人、海上保安学校学生（特別）、自衛官一般曹候補生など公安職での合格が続々と報告されています。

また、事務系では鴻巣市、技術職では佐野市（電気）など県外の市町村をはじめ、東京都立病院機構では11人の最終合格が報告されています。

1次試験の好調ぶりを最終試験まで維持できるように、学生と教職員が一体となってこれからの試験に臨みます。

夢に向かって

新入生インタビュー

本年度も数多くの学生が、公務員合格を目指し本校に入学しました。それぞれコースや希望職種は異なりますが、目標としている公務員になりたいという強い思いは全員共通です。新入生を代表して2人の学生に目標と意気込みを聞きました。

村役場で地域貢献したい

国家地方公務員初級（1年制）コース
齋藤 葵澄さん
沼田女子高校出身



地元で消防士になりたい

警察官・消防士（2年制）コース
小林 敦希さん
安中総合学園高校出身



▽目指している公務員とやりたいことは何ですか。

齋藤：川場村役場の職員です。地元で働き、貢献したいと思ったからです。田園整備課に入り、水道や土木、建築などに関わることでより住みやすい川場村にしていきたいです。

小林：高崎市等広域消防局の消防士を希望しています。そこで、要救助者を自分の手で助けることのできる救助隊として活動していきたいです。

▽高校時代の思い出は何ですか。

齋藤：茶道部でお茶会を成功させたことです。そのため下準備や広報活動を先輩や後輩と協力して行い、また無駄な所作がないよう練習も重ねました。お茶会当日は、市民の皆様や先生、家族など多くの方が参加してくださり、満足していただけたので、とても印象に残っています。

小林：部活動のラグビーで、関東合同チーム大会の群馬代表として関東大会に出場したことです。脚のけがで、半年ほどプレーできなかったこともありましたが、その時自分にできることを考え、努力を続けました。

結果として群馬代表になることができたので、高校時代の一番の思い出です。

▽今後への思いと意気込みを教えてください。

齋藤：私は話すことがあまり得意ではありません。面接試験で、自分の思いを伝えられるよう、今後はボランティア活動に参加するなど周囲との関わりを増やし、積極的にコミュニケーションを図っていきたくです。勉強面では授業をしっかり聞き、分からないことはすぐに調べるなど苦手科目を克服できるよう努力をしています。

小林：一次試験の筆記試験に不安があります。どの科目でも得点できるように毎日の授業を大切に、課題だけではなく自ら進んで勉強に取り組んでいきたいです。特に英語が苦手なので、少しでも克服できるよう単語を覚えることから始めていきたいと思っています。姉が消防士として働いているので、私も消防士として働けるよう合格目指して努力し続けます。



先生たちへ公務員試験の最新情報を提供した情報交換会

県内19校20人の先生が参加 「公務員情報交換会」開く

県内の高校で進路指導などを担当する先生たち19校20人が参加した「公務員情報交換会」が5月22日に本校で開かれました。

この情報交換会は、長年にわたり公務員試験の受験指導を行ってきた本校や公務員試験の出版事業を展開する実務教育出版社が、進路指導を通じて公務員試験に関わる高校の先生たちに最新情報を提供し、情報の共有化を図ろうとするものです。

情報交換会は2部構成で行われ、第1部では、本校と提携関係にある実務教育出版社の飯川昇取締役による「高卒程度公務員試験」の特徴と対策というテーマで基調講演が行われました。

飯川さんは、各種公務員試験の種類

や試験日程、採用予定数、試験内容から併願パターンや合格最低点の分析など令和6年度試験の最新情報を参加した先生たちに説明しました。

第2部では、本校から瀬尾昌央副校長が、学生を指導する立場から県内の高卒程度公務員試験の動向など詳細な最新試験情報を提供しました。

参加した先生からは「公務員試験の最新情報を知ることができて、生徒指導に役立てられる」「情報交換はたいへんありがたい機会」などの声が寄せられており、進路指導に役立つ公務員試験情報を必要としている現場の先生たちのニーズにマッチした情報交換会となりました。

実務教育出版による 初級公務員ガイダンス

本校と教育提携を結んでいる実務教育出版が、学生に最新の公務員試験情報や対策法を講義する「初級公務員試験ガイダンス」が、4月22日と6月17日に本部館6階ホールで行われました。

実務教育出版は公務員試験関係の出版社における最大手として知られ、本校にとって強力な支援者となっています。

4月に実施されたガイダンスでは、受験先の選択や自分が希望する職種で必要な条件の確認などを中心に講義が行われました。6月のガイダンスでは、公務員試験まで残り3カ月間の勉強方



熱心に講義を聴講する学生

法や目標とする点数、また主に2次試験で実施される面接や作文試験への準備の進め方なども知ることができました。

今回のガイダンスで得た情報をもとに各学生が最終合格を目指し、より一層飛躍していくことが期待されます。

就任あいさつ

群馬法科ビジネス専門学校 学校長 今井 俊一



4月から群馬法科ビジネス専門学校の学校長として就任いたしました。どうぞよろしくお願いいたします。

就任にあたり、本校で学ぶ皆さんに期待を込めて、「昨日までの自分を乗り越えよう！」という言葉をご紹介します。この言葉には昨日までの自分にはできなかったこと、やってこなかったことに果敢に挑戦し

て、少しでも良いから前進してほしい、成長してほしいという願いが込められています。

間」「あと1枚」の頑張りが、本番の試験で「あと1点」をもぎ取ることにつながります。

昨日までの自分を乗り越えよう

公務員試験合格を目指して勉強する中で、「あと1問解いたら今日は終わりにしよう!」「あと1枚プリントをください!」という「あと1

自分の殻を打ち破れ!限界打破!現状維持ではなく現状突破!昨日までの自分を乗り越えよう!
「THE GLC SPIRIT」のもと、本

校で学ぶ皆さんが、毎日全力で頑張ることを期待しています。
これからも、元気を出していきましょう!

クラス対抗で早押しクイズ 公務員試験意識し「一問一答」

本校独自の行事である「一問一答世界大会」が7月17日に実施され、盛り上がりしました。これは、全員参加型の早押しクイズ大会で、リーグ戦方式のクラス対抗戦を1対1で行うものです。

出題内容は、本校らしく公務員試験の教養試験で出題されるものから、オリジナル問題まで幅広く出されました。

学生には、大会1カ月前から、オリジナル問題以外の問題冊子が配布されました。公務員試験の受験を控えている学生たちは、各々時間を見つけて勉強に取り組んでいました。本番形式での練習を実施しているクラスもあり、クラスで協力して、大会に備えて準備を進めていました。

大会当日は、1試合35問で実施され、公務員試験の問題では、僅差で解答権を得た学生が正答し、喜ぶ場面が多々見受けられました。オリジナル問題では、悩む学生も多く見られましたが、中には相手のミスから運を味方につけ正解する学生もいました。

激戦の結果、4勝1敗(正答数60)で八鍬チームBが優勝を果たしました。



早押しクイズの難問に挑戦する学生たち

別科「上級(夜間)コース」 「技術職コース」を新設へ

公務員試験の高い合格実績を誇る本校では、今年から来年にかけて新たな学科コースを2コース開設します。

▽10月から別科「上級(夜間)コース」

今年10月から開講されるのが「別科」国家・地方公務員上級(夜間)コース。授業を18時から行うことで、日中に専門学校に通うのが難しい現役大学生や短大生、社会人など、大卒・短大卒公務員志望者のニーズに応え、公務員試験合格を支援します。この夜間コースでは、2カ月ごとに学期を設け、入講時期の選択が可能に。また、受講料についても学期単位で支払うため、自分が学びたい内容や時期を柔軟に選んで通うことができるのも大きな魅力です。

▽来春から「技術職コース」

来年4月から開設されるのが国家・地方公務員技術職コース。公務員の中でも、専門的な知識や技術を生かして地域住民の生活を支える技術系公務員の受験指導に特化したコースで、県内の専門学校では初めての取り組みとなります。技術職の公務員試験では、土木職をはじめ、電気職、農業職などさまざまな区分があり、一般教養試験とは別に、専門知識を問う試験も実施されるのが特徴。

技術職コースでは、工業高校・農業高校の出身者に限らず、初めて専攻分野を学ぶ学生にも対応したカリキュラムを組んでいるので、基礎から専門的な知識や技能まで多岐にわたって学ぶことができます。

本校内に開設されたCBTテストセンター(中央カレッジグループ新前橋テストセンター)は、令和6年3月のオープンから4カ月が経過しました。その間の利用者は、4カ月で1740人を超える人気「CBTテストセンター」利用者月を追うごとに増加し、7月下旬時点で累計1740人を超え、老若男女問わず多くの方に利用いただいています。

4カ月で1740人を超える人気 「CBTテストセンター」利用者

一部上場企業の採用試験や社内評価試験など、幅広く導入が進んでいます。また公務員試験の教養試験においても、テストセンターを利用した受験形態を導入する自治体などが増えています。そうしたテストセンター利用の受験のニーズに配慮し、当センターでは土曜・日曜の開設で受験者の利便を図っており、今後も利用者は増えると予測されます。

校外公務員志望者向けに 大卒・短大卒セミナー

校外の公務員志望者を対象とした大卒・短大卒程度の公務員試験対策講座が、3月5日から約3カ月間にわたり本校で開催されました。

今回の対策講座は、大卒程度または短大卒程度試験の受験希望者を対象に、夜の時間を有効活用できるよう夜間に実施されたものです。

大卒・短大卒程度の公務員試験では、高卒程度の試験と比較するとより高度な教養知識が問われます。

本講座では、独学では対策が難しい知能系分野(数的推理・判断推理)や

重点科目である政治経済のほか、時事やSCOA対策について、一日一科目完結型の講義を実施しました。

受講生には、現役の大学生のほか、社会人経験者の姿も見られ、受講後に熱心に質問する姿も見られました。

上級コース(教養専攻) 2人に卒業証書授与

国家・地方公務員上級コース(教養専攻)卒業式が、6月28日に行われ、2人の学生が卒業しました。

今井俊一学校長は卒業証書を授与し「今後も幅広く挑戦を続け、自分の専門性に磨きをかけてほしい」と激励の言葉を送りました。

「学生消防団」100人以上が登録 団員募集資料配布や救命講座受講

本校では、令和3年度から前橋市消防局の指導のもと「学生消防団」を誕生させ活動しています。4年目の活動となる本年も、消防団入団啓発の広報活動やイベントの後方支援、清掃活動、前橋市消防局の協力を得た救急救命法講座の受講などに取り組んでいます。

団員登録している学生は、2年生33人、1年生76人の合計109人で、学科・コース問わず多くの学生が参加しています。

毎週水曜日の放課後にJR新前橋駅周辺とフォレストモール新前橋で、消



団員募集や火災報知器設置などの啓発活動をする本校学生消防団

防団員の募集案内や家庭用火災報知機設置のチラシを配布しています。また、併せて奉仕活動として学校周辺の清掃活動にも毎週取り組んでいます。

本校学生消防団の活動が一人でも多くの市民の目に留まり、防災やゴミ問題への意識向上に繋がることを願っています。

新任職員紹介

中島志桜里さん
(教務部教務事務課兼業務部学生課)

全力で学生サポート

本年度から本校で教務事務と学生課を担当しております中島志桜里です。

私は短大の保育科を卒業後、保育士として子どもの成長を側で見守る



仕事をし、その後は接客業を通してたくさんの方々と関わる仕事をしてきました。

これまで培ってきた経験を生かして、夢や目標に向かって頑張る学生たちを全力でサポートしていけるように、精いっぱい頑張りたいと思いますので、よろしくお願い致します。

25人が誓いの言葉

厳かに戴帽式

21期生25人を対象にした「第21回戴帽式」が7月11日、ロイヤルチェスター太田で行われ、臨床実習に向け医療人としての決意を誓いました。

戴帽式は、学生が医療人として現場での臨床実習を前に、一人一人にナイチンゲール精神の宿ったナースキャップを付けてもらう儀式です。歯科衛生士を目指すものとしての職業意識を高め、その責任の重さを自覚するという

目的があります。

厳粛な雰囲気で行われた式典では、来賓、講師、保護者が見守る中、星野寛一学校長から学生一人一人にナースキャップが授与され=写真、



医療従事者としての責務を誓う戴帽学生

3年生の先輩よりキャンドルの火が灯されました。

学校長式辞、太田新田歯科医師会の小野好一会長の祝辞に次いで、戴帽学生は代表の並木滯さんを中心に声を合わせて誓いの言葉を述べました。10月

からの臨床実習に向け、新たな決意に満ちた清々しい姿でした。

戴帽式を終えた学生たちからは、「戴帽を受けた瞬間に身が引き締まる思いと同時に感動とうれしさでいっぱいになった」などの声が出ていました。

「SDGs学ぼう」

「SDGsについて学ぼう」。1年生のCSCP研修が、4月23・24日、5月15日の3日間行われ、世界の諸問題に自分たちは何ができるのかを考えました。

研修では、最初にカードゲームを通して学びました。次に、社会や地域における課題を発見し、課題解決に向け自分たちができる活動内容を考えSDGs活動宣言をグループごとに作成、発表を行いました。

最後に、作成したSDGs宣言に基づきSDGs活動の達成に向けた取り組みを進めました。

参加した学生からは、「SDGsをカードゲームで体験でき身近に感じることができた」「みんなで助け合えたこと

1年生がCSCP研修を体験



カードゲームでSDGsを楽しく学ぶ

が良かった」「身近に気づかない課題が多いことを知った」の声が出ていました。

また、活動事例として「買い物の時に手前からとるようになった」「レジ袋を買わなくなった」「普段は車で行く所を歩いた」などの報告もありました。

3年生4人がブースで活躍「歯と口の健康フェア」

太田新田歯科医師会主催の第30回「歯と口の健康フェア」が6月2日、イオンモール太田で開催され、本校からは3年生4人が参加しました=写真。



このフェアは、地域の方々に歯と口の状態への関心をもってもらい、日常から口腔ケアを意識し、健康寿命を延ばすことを目的としています。

主催団体に加えて歯科衛生士会、歯科技工士会、看護協会、栄養士会などもブースを設けました。

当日は午前10時のオープンとともに親子連れからお年寄りまで多くの来場者があり、毎年楽しみにしていると話してくれた人もいました。

学生たちは「歯磨き・フッ素コーナー」「型取りコーナー」「アンケートコーナー」の各ブースを交代で担当。その中でも手や指の型取りコーナーは人気で、行列ができるほどでした。学生たちは、子どもたちにやさしく声掛けをしながら誘導していました。参加学生にとって、実習や学習の成果を発揮する良い機会になりました。

また、フェアを通じて、歯科医師の先生方や歯科衛生士、歯科技工士の方などとも交流でき、貴重な経験にもなりました。

歯科治療の歴史など学ぶ「歯の博物館」で1年生が研修

1年生23人が6月5日、国内研修の一環として横浜市にある「歯の博物館」などへ出かけました。

学生たちは、同館の大野肅英館長から歯の歴史や「お歯黒」などについて講義を受けました。教科書では学べない多くの歯に関する話題に、学生たちは驚き、感心したようでした。

学生からの「昔の歯科治療と現在の歯科治療で、一番進歩した内容は何ですか」の質問に、大野館長は「昔は抜くしかなかった歯を、現在では保存治療ができるようになり、抜かずに治すことができるようになったこと」と回答してくださいました。

研修を終えた学生からは、「現代の医療技術の素晴らしさを再認識することができた」「歯科医療の重要性を学べた」などの感想が出ていました。

新任職員紹介

細井 亮太さん

(教務・事務・広報担当)

教員経験を職場に反映

昨年度までは、グループ校の中央高等専修学校桐生校で教諭として勤めていました。本年度から中央医療歯科専門学校太田校勤務となり、教務・事務・広報を担当することになりました。



新しい職場で不安と緊張の毎日ですが、これまでの小・中・高校教諭の経験を踏まえ、初心に戻り日々学ぶことを念頭に置きながら、必要な能力・これまでのスキルを深め主体的に学んでいきたいと思っています。一日も早く仕事に慣れ、先生方と協力し合いながら学生のサポートをしていければと考えています。よろしくお祈りします。

職員駐車場と学生駐車場 新設整備で利用者に好評

太田校では、本年度から、校舎に隣接した駐車場と学生駐車場が新設整備されました。

職員駐車場は非常勤講師の先生方も利用でき、便利になったと評判です。学生駐車場も、利用する学生たちから「昨年までの駐車場よりも近くなり、便利ありがたい」との声が出ています。



新設整備された職員駐車場

新設された職員駐車場は、献血車やレントゲン車も停車できるほどの広さがあり、今年度の健康診断・献血や避難訓練も例年よりスムーズに実施できました。

学校法人 有坂中央学園 厚生労働大臣指定 歯科衛生士養成所

CMS 中央医療歯科専門学校高崎校

〒370-0843 高崎市双葉町2-8 TEL. 027-310-5088 FAX. 027-310-5622

www.chuo.ac.jp

CHUO

中央カレッジグループ

医療従事者の責任誓う

2年生30人に戴帽

医療現場での実習に臨む2年生30人が、医療従事者としての決意を誓う戴帽式が7月18日に、高崎市内のプライダル会場で厳かに行われました。

戴帽式は、自ら選んだ歯科衛生士の道へ新たな決意を持ち、天職として志し学ぶ姿勢を持ち続ける思いを仲間と共に確認し、医療人としての責任を持つ誓いを立てることを目的としています。また併せて、歯科衛生士への一歩一歩の歩みを止めることなく支えてくれた周囲の人々に感謝の気持ちを表すものです。

戴帽式に臨んだ学生たちは、この日までに6月の戴帽式審査会（筆記試験及び実技試験）をクリアしてきました。式典では原和則学校長と高崎市歯科

医師会の石原隆副会長から学生一人一人にナースキャップが戴帽され、先輩の3年生の協力で、キャンドルが灯されました。

ナースキャップには、元来、自覚、責任、愛、信頼、感動、誇りの意味が、また、キャンドルには医療の精神・志を引き継ぐという意味が込められています。キャンドルの灯を先輩から受け継ぐことは、その精神を絶やすことなく灯し続けていくという意味も込められています。

戴帽後には、原学校長から式辞、石



原副会長から励ましの言葉をいただきました。これを受けて戴帽学生代表の矢島莉歩さんを中心に全員で「歯科医療の尊厳を守り、医療従事者としての責務の重さを自覚し、常に連携と協調博愛と奉仕の心を

▲医療人としての決意を誓う戴帽学生



◀ナースキャップを受け取る学生たち

持ち続けます」の誓いの言葉を唱和しました。

歯に関するカルタ大会 全学年の学生が交流

全学年の学生間交流を目的として交流行事「カルタ大会」が4月17日に行われました。

この行事は、学生たちが作成した歯に関するカルタを用いたもので、そこには「あいうべたいそうやってみよう!」「いの口でいっぱいみがこう元気な歯」「うがい手あらいよくしよう!」など、やさしい言葉や分かりやすい絵で口腔衛生に関する注意点などが表わされています。

参加学生は、楽しみながら学ぶ、交流を楽しんでいました。

今後も、本校ではこのように学年の壁を越えた交流を続けていきます。



カルタで交流する学生



楽しく公衆衛生について学べるカルタ

研修や実習多彩に

医療現場想定し 患者実習に挑戦

2年生が9月2日から4日にかけて、患者実習に挑戦しました。この実習では、医療現場での臨地実習で必要となる技術や仕事の流れなどを、今まで学習してきた知識・技術を活用して臨みました。

現場を想定し、仲間の学生の協力を得て、全ての流れを頭に入れ、制限時間内に行えるように準備すべきものや次の行動を考えながら進めていきました。

この実習で重要なことは、患者さんに危険がなく安全に行えるか、処置内



患者実習に挑む学生

容を説明できるかです。最終的には、現場で行う臨地実習の際に、全体を見渡し冷静に行動できる歯科衛生士としての目を養っていきます。

学生たちは、指導講師のアドバイスや指摘を受けながら、緊張気味に実習に臨んでいました。

3年生が都内メーカーで 講義と歯形セメント実習

3年生を対象にした材料セミナーが4月19日、東京都文京区にある歯科材料メーカー「GC」に出向き行われました。

セミナーは講義と実習で構成され、講義では歯科診療の際に使用する材料について、どのような時にどのような材料を使用するのか、それらの特徴などが説明されました。

講義の後は、歯の型どりの時に使用するセメント練和の実習などを行いました。

今後も学生たちには多くのセミナー



セメント練和の実習に挑戦する学生たち

に参加し、知識と経験を積んでもらいたいと思います。

本校含む青チーム 総合優勝を飾る

スポーツフェスティバル



スポフェス総合優勝を喜ぶ青チーム

中央カレッジグループの第5回スポーツフェスティバルが7月3日、高崎アリーナで開かれ、本校と中央スポーツ医療専門学校の学生で構成された青チームが総合優勝しました。

全10競技に楽しく真剣に取り組んだ結果の優勝でした。特に印象的だったのは団対抗リレーの女子決勝です。バトンを繋ぎながら独走状態でゴールした姿は圧巻でした。

学校法人 有坂中央学園 専門学校

CAG 中央農業大学校

〒371-0805 群馬県前橋市南町2-31-1 TEL.027-220-1200(代) FAX.027-223-2814

www.chuo.ac.jp

CHUO

中央カレッジグループ

中央農業大学校に今春、また新たな仲間が加わりました。将来の夢や希望を聞きました。

CAG 新入生の夢・希望

アグリビジネス学科
環境ビジネス専攻 1年

神山 智哉さん

(桐生第一高校出身)

就職見据え専門技術を

入学前は、友達ができるか、先生方は怖くないか、90分の授業でも集中して勉強できるかなどの心配がたくさんありました。

しかし、入学して数カ月たった今では気軽に話せる友だちができ、先生方も授業を丁寧に教えてくれるので、それらの不安は一掃され毎日を楽しんでいます。

学校生活ではクラスの皆と仲良く切磋琢磨(せっさたくま)しながら、日々



の学習だけに留まらず、学校行事などでも活躍できるよう取り組んでいきたいと考えています。

私は将来、農業機械販売や種苗関係の仕事に就きたいと考えているので、この2年間で農業に関する専門的かつ幅広い知識技術を身に付けていきたいです。

アグリビジネス学科
フードプロダクト開発専攻 1年

小塚 柚那さん

(吾妻中央高校出身)

食品開発のノウハウ学びたい

私が本校に入学を決めた理由は、オープンキャンパスで感じた学校の雰囲気と将来の夢を実現するのに最適なカリキュラムでした。

入学直後は授業時間が高校よりも長い90分なので、一コマの授業がとても長く感じましたが、課題や検定のための勉強が多くなると、90分では足りないと思えるようになってきました。勉強に充てられる時間は限られているので、より効率の良い勉強方法を編み出していききたいと思っています。



私は計算が得意ではないので、農業会計の授業は最初は苦手でしたが、得意ではない分、問題が解けた時に得られる達成感が大きく、今では好きな授業の一つになりました。

将来は食品開発の仕事に就きたいと思っているので、さらに専門的な知識や技術を身に付け、食品開発のノウハウを習得していきたいです。

就職しました

勤務先：株式会社エバーグリーン富士見

狩野 泰加さん

(2024年3月卒業、ファーム農業経営学科
6次産業化デュアルシステムコース)

企業説明会や体験会で確信

今年3月に本校を卒業し、念願の株式会社エバーグリーン富士見に就職。現在は仕事にも慣れ、少しずつではありますが任せてもらう仕事も増え、責任を感じながら働いています。

学生時代の就職活動を振り返ると、私は昨年3月ごろから就職活動を始めました。自ら合同企業説明会に参加し、そこで株式会社エバーグリーン富士見を知りました。その後企業説明会や作業体験会を経験し、この仕事に興味を持ち、どうしてもここで働きたいという気持ちが強くなり、試験を受けることにしました。

この会社は、野菜苗や花苗を扱う育苗会社です。キュウリやトマト、ナスなどの果菜類を中心に多様な野菜苗の



生産を行っています。私の部署は主にプラグ苗の管理や出荷を行っています。上司もみんな優しい人で、いろいろ教えていただきながら日々楽しく働いています。

最後になりますが、就職活動は大変だと思いますが、仲間と支え合い自信を持って挑戦してみてください。そうすれば、納得のいく企業に就職できるはずです。私も応援しています。

先輩からメッセージ

浅野 真吾さん

(花店経営、5期生)

サービスの原点に立って

本校を卒業後、2軒の花屋での経験を経て、自分の花屋を営む傍ら、別の花屋の手伝いをしております。一から興すことの大変さを感じながらも、皆さんと同じように学ばせていただく毎日です。

そんな中でも、学生時代の学びが生きる場面があります。本校の学びの中で一番生きていると感じるものは、簿記や経営に関する授業です。どの職業に就いても必要な考え方がそこにはあります。

もちろん専門知識も重要ではありますが、ビジネスをする以上、利益について無視することはできず、お客様がいる以上、どういったお客様にどのようにサービスを提供すれば満足していただくことができるかを考えることはたいへん重要です。

そして、仕事の本質は「人をどれ



だけ喜ばせたか」にあると思っています。ロボットに仕事が次々と置き換わっていますが、「お客様に“あなただから買いました”と言っただけにはどうしたら良いだろう」。そんな仕事との向き合い方ができる人であってほしいと思います。その上で皆さんが、あなたに感謝を伝えてくれる人と一人でも多く出会えることを願っております。

農林水産省が作成した農業経営人材育成事例集で本校が紹介されています。

掲載事例は、農業生産法人、農業施設園芸資材企業、農業経営コンサル事業者、地方銀行、公益財団法人等、全国で11の取り組みが紹介されています。

本校は、その中で「学校法人による取組」として事例紹介されており、学生による農業生産物を活用した6次産業化で

実践的に稼ぐという本校の特色に焦点があてられています。

農林水産省のHPで本校紹介 農業経営人材育成事例として

具体的な内容として、本校の人材育成の目的や、やってみて考える実践的なカリキュラム、イノベーションアワードの

参加、企業や地域と連携した教育などが取り上げられ、本校独自ブランド「はたちの干しいも」や「はたちのみぞ漬け」の写真も掲載されています。

現在も農林水産省のHPに掲載されていますので、検索してください。

参考にアドレスを紹介します。

https://www.maff.go.jp/j/kobetu_ninaite/attach/pdf/index-15.pdf



事例集に掲載された本校の取り組み(表紙部分)

本校では前身の中央農業グリーン専門学校創立以来、所在地域の方々と交流を重ねてきました。本年度もその伝統を踏まえ、夏祭りなどに学生たちが参加協力しました。

学生たちが担ぎ手に

水神社神輿巡行

昨年度から継続している地域交流の取り組みとして、7月13日に水神社(前橋市南町2丁目)の神輿巡行に学生が参加しました。

水神社の神輿巡行はコロナ禍を経て復活したものの、地域において神輿の担ぎ手が不足している状況で存続が危ぶまれていました。その現状に対し、自治会からの要請を受けて昨年度より本校の学生が担ぎ手として参加しています。

本年度はグループ校からも参加学生を募り、中央情報経理専門学校、中央動物看護専門学校の学生も含めて12人



神輿を担ぎ巡行する学生たち

の学生が参加しました。

神輿を担ぐのは初めてという学生もいましたが、先輩や地域の方からコツを教わって、約2時間のコースを交代しながら巡行しました。

神輿巡行終了後には地域の方から感謝の言葉をいただくとともに、水神社の歴史などについても教わりました。

終了後の参加学生は皆充実した表情で、1年生からは「また来年も参加したい」という声を多く聞くことができました。

地域の伝統行事を絶やすことがないように、来年度もまた多くの学生とともに参加したいと思います。

学生が栽培した野菜販売

納涼祭野菜販売

本校では、地域の人たちとの交流の一環として、前橋市南町2丁目の「納涼祭」で毎年、学生たちが育てた野菜などの販売を行うとともに、抽選会の景品用に野菜を提供しています。



納涼祭で野菜販売する学生

本年度は8月3日に開催され、本校農場で収穫されたキュウリやナスを中心に、2年生の学生が栽培した新品種のトウモロコシや多品種のジャガイモを販売しました。

通常、スーパーマーケットでは見かけることの少ない品種と、収穫したての新鮮な野菜を求めて多くのお客様に足を運んでいただき、会場のにぎわいをより一層盛り上げました。

この取り組みは、学生にとっては販売実習の場も兼ねており、おすすめの品種や調理方法をアドバイスするなど、お客様とコミュニケーションをとりながら野菜を販売しました。

本校では「町田式新農法」を用いたメロンの水耕栽培に2017年度から取り組んでいます。

町田式新農法は、特殊な水耕栽培槽により根が健全に生育し、高品質かつ多収なメロン栽培を実現しています。

本年度は暑さが年々厳しくなる気候条件への対応と品質向上を目指して、栽培槽2機それぞれに栽培方法

に工夫を加えて試験栽培中で、メロン部の学生が中心となって日々の栽培管理に動んでいます。

メロン水耕栽培 品質向上に工夫

頭上に実った多くの果実はもちろん、日々の記録によって得られた栽培に関するデータも貴重な収穫物



メロンの水耕栽培

で、さらなる品質向上と課題解決のために次年度以降の栽培へと活用されていきます。

さあ
かり

果実
工房

▼シャインマスカットを使用した商品



フルーツサンドやフルーツタルトなど、新鮮な果物を使用した商品を販売する中央フレッシュフーズ株式

学生も製造・販売に参加 新商品の考案も一役

工場稼働当初から、中央農業大学の学生が製造や販売の現場で実習を行い、食品の衛生管理をはじめ食の製造・販売にかかわる知識・技術の習得を目指し活躍しています。

最近では、学生が現場で学んだ技術や知識を生かした新商品の提案会も開催。学生が考案した商品は直売店やスーパーでの販売に向けて準備が進められています。

中央農業大学校 6次産業化施設

中央フレッシュフーズ株式会社

オープンから2年半 新商品が続々登場

会社が運営する工場直売店「果実工房ありさか」が本年9月で令和4年3月のオープンから2年半を迎えました。新商品も続々と登場し、店舗には色鮮やかな商品がずらりと並び、多くのお客様に親しまれていま

1年生の時から工場を実習を行っている食品開発デュアルシステムコース4年生、菊嶋佳洪さんは「食品工場における衛生管理手法や商品の製造・出荷対応など、座学では学ぶことができないことを多く経験できています」と話している、学生にとっても有意義な実習の場となっています。



工場実習している菊嶋さん

す。

例年大人気のシャインマスカットを使用した商品の販売もスタートしました。

TAKASAKI FRUITS SAND

高崎の果物などを ふんだんに使用 焼き菓子が人気に

高崎産の小麦や果物を使用した商品「TAKASAKI FRUITS SAND」が人気を集めています。

本商品は高崎産の原料を可能な限り使用。サブレは高崎産の小麦『きぬの波』を使用し、丁寧に一枚一枚焼き上げています。クリームは練乳をベースに、ホワイトチョコを加えた自家製クリーム。「イチゴ」「ブル

工場・直営売店
住所：〒370-0012 高崎市大沢町227-1
TEL 027-386-4382 <https://chuo-fd.jp/>



高崎銘菓の期待を込めて新発売された「TAKASAKI FRUITS SAND」

ーベリー」「栗」の3種類のフレーバーが楽しめます。

「イチゴ」は中央農業大学の学生が高崎市大沢町の圃場で生産した『やよいひめ』をジャムの製造許可を持つ中央農業大学校で加工したものを使用、パッケージもかわいらしいデザインで、手土産やギフト商品として多くの方に愛用いただいています。

商品は1箱15枚入りで税込2484円。「果実工房ありさか」のほか高崎オーパ1階「高崎じまん」でも販売されています。

学校法人 有坂中央学園 専門学校

CID中央情報大学校

〒370-0841 群馬県高崎市栄町13-2 TEL.027-324-8511(代) FAX.027-325-8820

www.chuo.ac.jp

CHUO

中央カレッジグループ

DXを学校挙げて 学生と共に研究

……日常の多くの課題に対応……

中央情報大学校では、DX（デジタルトランスフォーメーション）への取り組みを日ごろから意識し、日常の課題をどう改善していくのかを学生と共に研究しています。

具体例を挙げると、①オープンキャンパスや学園祭の受付自動化アプリ開発 ②(株) 鐵建の弁当注文システムや日報管理システムの開発 ③「視覚のハンディキャップ」を持つ方々を支えるアプリ開発と「地域と連携した仕

組みづくり」も含めた研究開発など多彩です。

世の中でDXが進まないと言われる要因は時間がかかる作業でも「疑問を持たず」「今まで通り」進めてしまうことや、課題を見つけたとしても「行動しない」「継続しない」ことだと言われています。

DXには、データやデジタル技術を活用しての業務改善はもちろん、それだけでなく、製品やサービスなどの従

来の価値観を変革し、組織や企業をも改革することが求められ、期待されています。

学生たちだからこそその視点と取り組みを継続し、若い世代からDXを推進・発信していくことが、世の中を変えていく大きな力になると信じています。

▽職員も業務改善に活用

学生に背中を見せるために、職員もDXに対して積極的な行動を継続し改

革を推進しています。校内報告書の自動化、職員や学生が利用するポータルサイトの開発、これらの業務改善が評価され、2024年3月に行われた中央カレッジアワードにおいてグランプリを受賞いたしました。

日常の事象一つ一つに目を向けて、少しずつ改善していくことが、本学園グループ全体のDX実現に向けた一歩になり得ると信じて、まずは本校が先行して突き進んでいきます。



DX研究開発に熱心に取り組む学生たち

2年連続で 最優秀賞

サイバーパトロールコラボレイター



最優秀賞を受賞し、県警関係者や教職員と記念撮影する受賞学生たち

CPC 情報リテラシーツールコンクール

群馬県警察サイバーセンターから委嘱を受けている本校のサイバーパトロールコラボレイター7人（情報システム学科・高度ICTデザイン学科）が、CPC情報リテラシーツールコンクールで最優秀賞を2年連続で受賞しました。

このコンクールは群馬県内で情報処理が学べる大学・短大・専門学校が全て参加しており、今年で2回目の開催。本校の作品は「ネットリテラシー体

験型ゲーム」で、サイバー犯罪の被害を防ぐ知識を学ぶゲームです。

その作品内容は、「DM被害体験ゲーム」と「偽サイトを当てよう」の2部構成。スマホで体験できるゲームにすることで、より身近で手軽に意識してもらえるよう工夫がされています。

受賞した学生たちには、自分たちが学んできた技術で人を助けることができるといふ誇りを胸に、今後も積極的な取り組みに期待しています。

夏休み「学童教室」に児童100人 本校が呼びかけ8校15分野で実施

本校が中心となって実施した小学生対象の夏休み学童教室「中央キッズサマーバケーション」が、8月中の6日間、開催されました＝写真。

今回で5回目となる学童教室には、総勢100人の小学生が参加。本校の強みであるプログラミング、デザイン、電気などの専門分野のほか、中央カレッジグループの専門学校8校が協力した体験学習、自衛隊・警察による特別イベントなど、合わせて15の専門分野を子どもたちに提供することができました。

講師役など学生が主体で行われるこの教室は、SDGs達成に向けて17の目標のうち「4. 質の高い教育をみんなに」「8. 働きがいも生きが



いも」を主なゴールにしています。イベントを通して、主体性・協調性・対応力など、多くの面で学生たちは大きく成長しました。

参加受付時にチャリティ募金を行い、33,576円の募金をいただくことができました。募金は公益社団法人チャンス・フォー・チルドレンに寄付し、経済的困難を抱える子どもたちの支援に繋げていきます。

難関の「Java Gold」合格 1年生時に三堀さんが快挙

情報システム学科2年の三堀侑哉さん（高崎工業高校出身）＝写真＝が、Oracle社のベンダー試験であるJava Goldに見事合格しました。三堀さんはこれまでにJava Bronze、Java Silver、そしてJava Goldと受験した全ての試験に合格するという快挙を成し遂げました。



Java Goldは、3種類あるJava資格の中でも最高難易度で、世界でも通用する資格です。

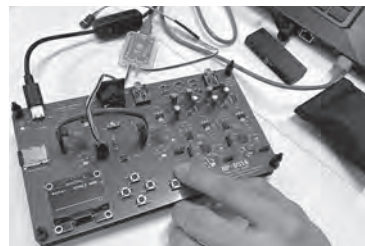
本校のカリキュラムでは、Java Silverまでの指導となっていますが、三堀さんは独自の努力と情熱でJava Goldの試験に1年生で挑戦、見事合格を勝ち取りました。

4年制の強み生かし ユニークな専攻研究

高度ICTデザイン学科

4年制の高度ICTデザイン学科は、2年生後期から個々の専攻に基づいた研究テーマを設定し、定期的に振り返りレビューを実施しながら、研究を進めています。

今期のテーマは、自走プリンター開発や東京ゲームショウ出展向けUnityゲーム開発など、30を越える研究を行っています。中でも、「組み込みシステムを利用した低価格な電子楽器の開



組み込みシステムを利用した電子楽器の実践研究

発に関する実践研究」では、オリジナルデジタルシンセサイザーの開発に取り組んでおり、エフェクトや音色の編集機能を追加しつつ、基盤のコンパクト化を目指しています。

このように、専門分野にじっくりと取り組むことができるのも4年制ならではの強みとなっています。

ITリテラシー教育の底上げを 内池先生が産技専などで講習

本校の内池雄先生が、群馬県産業経済部の依頼で、前橋、高崎、太田の産業技術専門学校で約250人を対象にITリテラシー講習を行いました。さらに、高崎商業高校でも全校生徒758人にIT

リテラシー講習を実施しました。中小企業に向けてはデータサイエンスの入門編を開催し、実際のデータをもとに分析を行い、データを活用した新たな分析手法について解説しました。

自校だけでなく、各所で教育活動を行うことで、群馬県全体のITリテラシーの底上げに尽力しています。

本校が「適正校(クラスI)」に 出入国在留管理庁が認定 留学生入学に朗報

多くの留学生受け入れ実績のある本校が出入国在留管理庁から「適正校(クラスI)」の認定を受けました。クラスIになったことで本年度4月入国の在留資格認定証明書交付が100%となりました。これからは「日本への留学」という夢を持った入学予定者全員を受

け入れることができるようになります。

クラスIに認定されるためには、在留資格更新不許可を含む禁止5項目に該当する生徒を出さない等が条件となっています。

本校の日本語学科では、3年連続で



本校で学ぶ留学生

禁止項目に抵触する生徒を出さなかったため、昨年11月に認定されました。これからもクラスIの維持に努め、多くの入学者が高いレベルの教育を受けられるよう、よりよい環境を整備していきます。

▽新聞奨学生を受け入れ

また本校では新聞奨学生の受け入れを始めました。早朝の新聞配達が主な業務となりますが、生徒たちの頑張りを応援していきたいと思ひます。

コンテスト受賞相次ぐ

本校学生たちは、各種コンテストに積極的に応募し、実績を上げています。

1年の野田さんが優秀賞

「伊勢崎市観光特使ひまわりコンテスト募集ポスター」



2024年9月に開催される「第37回伊勢崎市観光特使ひまわりコンテスト」の参加者募集用ポスターのデザインコンテストで、クリエイティブデザイン学科1年の野田帆乃華さんが優秀賞を受賞しました。

最優秀賞に羽鳥さん

「高崎まつりボランティア募集ポスター」



高崎まつりボランティア募集ポスターコンテストで、クリエイティブデザイン学科2年の羽鳥帆南美さん(前橋工業高校出身)の作品が最優秀賞として採用されました。

羽鳥さんの作品は深い青緑を基調としたシンプルで美しいポスターに仕上がっています。こちらのポスターは高崎市内に広く掲示されました。

日本人学生と留学生が 習字伝言ゲームで交流

「イベントマネジメントA」の授業として6月7日、複数学科混在の日本人学生11人と日本語学科の外国人留学生19人が参加した交流イベントが行われました=写真。

この授業は、イベント運営に必要な企画や知識、心構えなどを学習することが主な内容。今回は「習字で伝言ゲーム」として、習字の筆や半紙を使って絵を描く伝言ゲームを学生が考案しました。

イベントを運営する学生たちは、開始当初は緊張して動きもぎこちなく、焦ってしまう様子でした。しかし、進



行するにつれてサポートし合い、留学生を楽しませながら、スムーズに運営できるようになりました。

会場では、見事な絵や一見すると想像しづらい絵などが次々と描かれ、留学生からは笑い声も溢れ、交流もうまくいったようでした。

今回の授業は、学科を超えた交流と実践経験が得られる貴重な機会となりました。今後もこのようなイベントを続けていく予定です。

電気系国家資格 クラスで団結、合格目指す!

Google フォームを活用し過去問演習

電気通信学科

電気通信学科では、検定合格を支援するためGoogleフォームを活用した過去問演習を実施しています。これにより、学生は自分の学習進捗度をチェックしやすくなり、個々の苦手分野を抽出できます。それぞれの学生に合った試験対策を提供し、より効果的に学習を進められる体制を整えています。

さらに、クラス全体での合格を目指し、一致団結した雰囲気づくりにも力

を入れています。放課後は友達同士で教え合い、問題を出し合う環境を整えています。また、講師も国家資格へのチャレンジを続けているのも雰囲気づくりに影響を与えています。電験二種、消防設備士甲乙全種、工事担任者総合通信など、学生と共に高い資格を目指しています。放課後は教室に残り、講師・学生ともに学び合い、支え合うことで、全員が目標達成に向けて一丸となって頑張れる環境が生まれています。

電気系国家試験に多数合格

第二種電気工事士 11人

電気通信学科では、各種電気系国家試験に挑戦をしています。直近の合格者状況を紹介します。

【各種資格合格者一覧】

(カッコ内は出身高)

▽第二種電気工事士 上期試験

(筆記：5月、実技：7月)

- 中島 優心 (安中総合学園高校)
- 加藤 大雅 (利根実業高校)
- 木村 友哉 (児玉高校)
- 清水 優希 (藤岡北高校)
- 大浦 陽飛 (前橋工業高校)
- 渡辺 真礼 (前橋育英高校)
- 清水 翔太 (渋川高校)
- 齊藤 颯太 (成徳深谷高校)
- 工藤 優斗 (新島学園高校)
- 今井 脩都 (高崎東高校)

永瀬 大介 (伊勢崎高校)

※本校合格率84.6% (全国合格率39.99%)

▽第二種電気工事士 上期筆記試験 (5月実施)

中村 裕太 (藤岡工業高校)

黒島 拓真 (桐生第一高校)

※本校合格率100% (全国合格率60.2%)

※第二種電気工事士は筆記試験・実技試験の両方を合格することで取得ができる資格です。

▽第三種電気主任技術者 下期試験 (3月実施)

洪澤 朋輝 (伊勢崎商業高校)

※本校校合格率 (4科目合格) 50% (全国合格率 (4科目合格) 21.2%)

「CID EXPO 2025」が、来年2月22日に開催されることになり、早くも本番に向けて、準備が本格的に始まりました。

今年で第4回となるこのイベントは今年度も学生たちが主体的に企画した多彩なプロジェクトが目玉となっています。

情報系では、体験ブースを準備しており、自身の影を用いたアクションゲームを制作予定です。デザイン系は、デジタル空間内での自分のキ

ャクター (アバター) の制作ブースなどを出展する予定。電気系では発電所から住宅への電気の流れをジオラマで制作し、実際の街並みを再現します。留学生は、ロボットアームを操作してゲーム体験ができるブースや、日本語スピーチコンテストを企画しています。

「CID EXPO 2025」は
2月開催
学生主導で多彩な企画

各コースの学生たちは発表に向け、熱心に準備を進めており、学びの集大成を披露できるイベントとなるでしょう。

学校法人 有坂中央学園 厚生労働大臣指定 美容師養成施設

TBM 高崎ビューティモード専門学校

〒370-0841 群馬県高崎市栄町13-1 TEL.027-310-2220(代) FAX.027-327-6344

www.chuo.ac.jp

CHUO

中央カレッジグループ

美容学生の輝き! 華やかに7ステージ

高崎ビューティモード専門学校の恒例行事「Live of Art 2024 (Glowing～輝～)」が、7月20日にエテルナ高崎を会場に行われ、本校美容学生が舞台上で輝きました。

このLiveは、今や本校夏の風物詩となったヘアメイクファッションショーです。今回も盛況で、来場者数273人を数える一大イベントとなりました。

今回のショーのコンセプトは、【Glowing～輝～】で、学生たちの個性が輝いた多くのステージが披露されました。

本番前の7月に入ると、ショーを成功させるために1・2年生が協力、まさに一丸となって取り組みました。モデル、施術者ともに当日に最大限の力を発揮しようと、試行錯誤しながら頑張っている姿がたくさん見られました。

当日は、ステージが始まる前まで緊張している様子もありましたが、本番のステージでは緊張や不安を感じさせないほど堂々と立派にやり遂げてくれました。

また、舞台上上がったモデルだけではなく、裏方も舞台を成功させるため、モデルを輝かせるために、美容業界で働く際の心構えを、このショーから学んだ学生たちもたくさんいます。それぞれの学生たちが、ス

TBM Live of Art 2024

Glowing～輝～



③ Make



⑥ Cut



④ Bridal



⑤ Japanese Dress



② Dance



⑦ Collaboration



① Opening

テージで繰り上げられるショーに涙する光景も見られました。

会場を埋めた高校生たちからも真剣な表情で各ステージを鑑賞する様子がうかがえました。美容学生の輝く舞台に、良い刺激を受けたのではないかと思います。

来年もさらに素晴らしいステージを皆様にお届けできるように、学生・教職員一同努力していきます。

目指せ早期内定!

「就職総決起大会」開く



就職早期内定に向け決意を誓う学生たち

「希望の就職先に早期内定を!」。本校の就職総決起大会が、4月16日に高崎シティギャラリーを会場に、2部構成で行われました。

第1部では卒業生の座談会が行われ、社会人として働くための心構えやこれから始まる就職活動についてのアドバイスをいただきました。

第2部では竹内久学校長の激励あひさつに続き、各クラスの学生代表者が

壇上に立ち、就職に向けて「早期就職内定100%達成」を目指して決意表明。各クラスのスローガンとクラス全員の名前が書かれた決意表明の色紙を学校長に手渡しました。

学生たちは、各クラスの担任からの激励の言葉を受け、これからの就職活動に向けての意欲が高まりました。

教職員一同、早期就職内定に向けて全力でサポートしていきます。

本校の「TikTok」が2年間連続毎日投稿達成

本校のSNS活動の中でも、今最も力を入れているのはTikTokです。毎日投稿を続けており、2024年7月27日で2年間連続の毎日投稿を達成しました。

投稿内容は「イベント」「オープンキャンパス」「学生」「先生」など、多岐にわたります。それによって、先生

たちの人間味あふれる姿が伝わり、学生や高校生との交流が深まっています。

最近ではTikTok Liveを通じて、卒業生との交流や高校生からの個別相談、さらにはメイクやヘアケアの相談なども行っています。

これからも皆様楽しんでいただける内容をお届けしていきます。ぜひフォローをよろしくお願ひします。



恩師に感謝の思い込めて5年ぶりに卒業謝恩会

本校謝恩会(卒業パーティー)が3月7日の高崎市内3専門学校合同卒業式を終えてから5年ぶりに行われました。

謝恩会は、新型コロナウイルス感染症の影響で5年間実施できない状態でした。本校卒業生たちはパーティースタイルで高崎エテルナへと向かいました。

会場では、2年間頑張ってきた仲間



5年ぶりに開催された謝恩会

と最後の時間を楽しみました。

今までお世話になった先生たちに感謝の気持ちを伝え、泣いたり笑ったりしながら、あっという間にお別れの時間になりました。

就任あいさつ

今が人生勝負の時

高崎ビューティモード専門学校 学校長 竹内 久

4月から高崎ビューティモード専門学校の学校長に就任しました竹内久です。3月に県立学校の役職定年を迎え、渋川青翠高等学校の校長を最後に退職しました。縁あって中央カレッジグループに迎えていただきました。どうぞよろしくお祈りします。

本校の教育目標は「社会の変化に適応する美容技術と美的感性を備えた人間性豊かなスペシャリストを養成する」です。まさに皆さんはこの教育目標に合致した明確な将来像を持って入学してきてくれました。その夢を実現するための国家試験や各種資格をあきらめずに必ず取得しま

しょう。本校で学ぶ2年間が人生勝負の時です。ぜひ、自分の思い描いている将来像を見据え、そこで活躍している自分を想像してみてください。辛かったり苦しかったりすることあきらめず努力することによって、希望するサロンへの内定を勝ち取り、



高崎ビューティモード専門学校から羽ばたいて行ってください。最大限支援してまいります。

将来の可能性広げる「自由選択科目」を導入

「自由に選択、なりたい将来、やりたいことを自分で決める」を授業コンセプトに、高崎ビューティモード専門学校では「前期・後期」毎週水曜日の授業を自由に選択ができるシステムを組み込んでいます。

国の指定規則を満たす必須科目に加え、学生自身の興味・関心に合わせて授業を受講できる自由選択科目を設けたもので、これにより、将来の選択肢を広げ、進みたい分野の知識や能力をより高めることが可能になります。

具体的な選択科目は「実技科目から筆記科目まで」多種多様で、カット・ヘアカラー・着付け・アップスタイル・ネイル・メイク・エステ・ヨガ・マツエク・フォト・色彩学・デッサンなどがあります。これによって学科の垣根を無くし、美容師学科でもビューティ学科でも本当に興味があること・さらなる技術の向上など基礎技術・知識から応用技術・知識まで幅広く学ぶことができ、専門資格や検定取得に特化した授業にもなります。

▽出席率や学習意欲に好結果

この制度は、受けたい授業を自分でカスタマイズして、学びたい分野をと

TBM 多彩な取り組み



メイク選択：基礎技術 (美容師学科2年生の小松さん：1年次の写真)



アップスタイル選択：応用技術 (美容師学科2年生の田口さん：1年次の写真)

ことん追求し、幅広い分野からサロンのニーズに合った知識を得ることも可能。当然、自分で学びたい授業を選んでいるので、出席率・学ぶ姿勢・意欲などに好結果が生まれています。

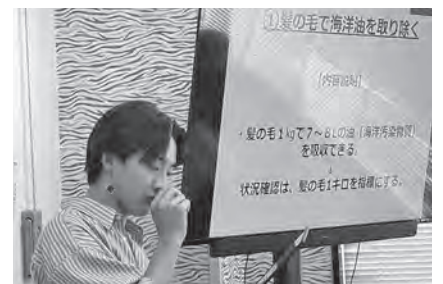
美容学生SDGsを学ぶ 1年生140人が研修

本校の2学科1年生140人を対象としたCSCP研修が5月9、10、13日の3日間行われました。美容師学科が9・10日、ビューティ学科は10・13日に実施しました。

初日に行われた研修では、SDGsの概要説明と、時間やお金などが記載されたカードを使用して、楽しみながらSDGsを学びました。

そこで学生たちはチームで協力しあい、別のグループとのカード交換などを行いながら、自身のチームの経済成長や環境改善などについて話し合いました。社会人の研修でも数パーセントしか出ないという数値を出すなど、白熱した研修となりました。

2日目は、クラスごとに6～7つの



毛髪を利用したSDGs活動を発表する学生

班に分かれて、学校で実行するためのSDGsについて意見交換をしました。それを模造紙に記入し発表を行いました。発表の中には、カットされた毛髪を利用した海洋油を取り除く取り組みなど、美容学生らしい活動内容も発表され、有意義な時間となりました。

参加した学生たちからは、「楽しくSDGsが学べた」「私たちにもできる社会貢献があることを知ることができた」などの感想があり、起点が自身であるというSDGsの主旨が伝わったことを確認できました。

非認知能力を高める「TBM Method」

本校では、現代社会において重要視される「非認知能力」を向上させ、学習意欲を高めるため、従来のインプット型授業からアウトプット型授業への移行を目指し、アクティブラーニング型授業を本年度から本格的に実施しています。このアクティブラーニングを本校では「TBM method」と名付け職員一人一人の指導力の統一も図って

ヘアメイクをゲームで楽しみながら学ぼう

ヘアアレンジについてカードゲーム形式で楽しみながら学ぶ授業「ヘアメイクゲーム」にも取り組んでいます。

3人から4人のグループに分かれてプレイするチームワークを重視したゲームで、使われるカードはアイテムカード(ピン・ゴムなど)、スキルカード(三つ編み・編み込みなど)、ミッションカード(ミッションをクリアし、新たなカードをゲット)、チャンスカード(グループ対抗早押しクイズ)の4種類。

次のようなルールで行われます。

①プレイヤーはそれぞれ1枚のカード

を引きます。②グループ内でそろったカードを使って、完成品ウィッグと同じ作品を作ります。③グループ内にはないカード(スキルやアイテム)は使用できません。④カードが足りない場合や、作り方のヒントが欲しい場合は、ミッションカードやチャンスカードを使います。⑤学生同士のトレードもOKですが、譲渡はできません。

学生たちは、「友達同士だからこそ学べるがあった」「先生に聞きやすくなった」といった声が多数寄せられています。

学生たちは、このゲームを通して、技術や知識だけでなく、グループで物事を行うコミュニケーション能力や主体性の向上を図ります。

卒業生の現在 24

今回紹介する卒業生は、21期生の下田真優さんです。下田さんは、ネイルコースを卒業し、人気店が集まる池袋でネイリストとして勤務されています。

「NAIL MAISON」=東京都豊島区
下田 真優さん (21期生)
(国際ビューティ学科卒業)

仕事を通じ成長を感じる

難易度の高いネイルの資格を、在学中に取得された下田さん。

「私を指名してくださるお客様がいること、仕事の中で技術の成長を感じられることが、何よりのやりがいです。好きなことを仕事にでき、



現在(いま)は本当に楽しいです！」と目を輝かせていました。

下田さんの今後のさらなるご活躍をお祈りしております。

学校法人 有坂中央学園 国家資格 愛玩動物看護師 指定養成所・群馬サファリパーク職業教育連携校・北軽井沢地域職業教育連携校

CAN 中央動物看護専門学校

〒371-0844 群馬県前橋市古市町1丁目43-27 TEL. 027-253-7211 FAX. 027-289-4005 フリーダイヤル. 0120-15-1281

www.chuo.ac.jp

CHUO

中央カレッジグループ

中央動物看護専門学校に令和6年度の新入生47人が加わりました。それぞれの夢に向かって授業が始まっています。各学科の1年生にインタビューしました。

夢に向かって

新入生インタビュー

動物看護師学科1年

田村 麻七さん

(第一学院高校 高崎キャンパス出身)



自分のペースで学びたい

▽入学を決めたきっかけ

オープンキャンパスの際に先生方がとても優しく雰囲気が良いと感じたからです。私は、通信制高校出身のため通うことができるのか心配でしたが、この学校だったら安心して通うことができると思いました。

▽授業について

授業は丁寧で分かりやすく、先生方が自身の経験を交えて話してくれたり、学習でつまづいたときは励ましの言葉をかけてくれるので、頑張れます。飼育当番も最初は大変だと思いましたが、今では他学科の学生とも仲良くなり楽しみになりました。

▽私の抱負

期末試験で、良い成績をとることはもちろん、教えてもらったことを自分のペースで身につけて今後につながるような勉強をしていきたいです。

動物飼育学科1年

大川 伊吹さん

(桐生第一高校出身)



水族館飼育員になりたい

▽入学を決めたきっかけ

小さいころから私は、生き物、特に魚類が好きで、よく水族館を訪れていました。将来は、大好きな魚類の近くで仕事ができる水族館の飼育員を目指しているため、本校を選びました。

▽授業について

入学当初は好きな動物についてだけ勉強したいという気持ちが強かったのですが、授業を受ける中で自然環境や愛玩動物にも興味や関心を持つようになりました。現在は自然関係や愛玩動物の資格取得を目指して頑張っています。

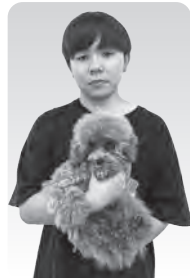
▽私の抱負

今後は、週1回行っている飼育実習で、より多くの動物の飼育方法を学び、将来の職業選択に活用できるようにしていきたいと考えています。

動物美容学科1年

青木 陽大さん

(吾妻中央高校出身)



トリマーの道へ

▽入学を決めたきっかけ

「ボサボサだった犬をきれいにカットするトリマーがかっこいい！」という思いからトリマーになりたいと考え本校への進学を決めました。将来は犬の気持ちを一番に考え、ストレスを極

力感じさせない施術ができるトリマーになりたいです。そのために実習を丁寧に言い、技術向上に繋げられるような心がけています。

▽授業について

授業も休まず真面目に取り組み、早い段階でトリマーとして必要な技術や知識を取得したいと考えています。

▽私の抱負

将来は、さまざまなお客様とお話しする機会も増えるので、クラスメートに限らず全学生と友達になれるように頑張っています。

ファミリー動物も仲間です！

学生たちの家族のような存在、それが本校で飼育している「ファミリー動物」です。その仲間の一部を紹介します。

学生たちは、全学科合同の飼育班を組み、毎日朝夕の飼育管理を行っています。これによって、観察力やチームワークを養い動物関係の職業に必要な力を身につけます。

23年6月から本校に仲間入り！やんちゃなゴールデンレトリバーの女の子。



フラッシュ



テン

最近ペットとしても人気のヒョウモンカゲモドキです。本校には爬虫類もいます。



茶トラの女の子「茶々(ちゃちゃ)」

三毛猫の女の子「小豆(こまめ)」

2匹の猫は、仲良しでいつも一緒。



ウニ

ウニみたいな見た目が可愛いヨツユビハリネズミの男の子。

見学・研修多彩に

「道具を大切に作る心」学ぶ 動物美容1年生が鉄工場見学

動物美容学科の1年生が4月25日、東京理器株式会社の鉄(はさみ)工場の見学に出かけました。

見学の目的は、職人が一つ一つ製品を丁寧に仕上げる姿を実際に見ることで、トリマーとして「道具を大切に作る心」を身に付けてもらうというもの。



東京理器の松本社長から説明を受ける学生たち

学生たちは、鉄の製造工程を見学後、東京理器の松本州史社長より直接鉄を受け取り、鉄についての講義を受けました。

その中で、鉄の扱い方やその繊細な造りなどについて話していただき、鉄についてさらに理解を深めることができました。これからトリマーになる学生たちにとって、とても貴重な経験になりました。

1年生はこの日が初めて自分の鉄に

触れる日になりましたが、学校へ帰る道で学生から「自分用の鉄が手に入り、うれしい」という声を聞くことができました。

哺乳類の知識学ぼう 科学博物館の企画展へ



「大哺乳類展3」を見学した学生たち

動物飼育学科2年生が6月7日、授業の一環で国立科学博物館の企画展「大哺乳類展3」を見学に行きました。

同展は、哺乳類の誕生から現在に至るまでの進化の過程や分布による分類の違いがテーマ。学生たちは、授業で学んだ内容を復習しながら見学することで、さらに知見を深め視野を広げることができたようです。

さらに同展だけでなく常設展も見学した学生も多く「実際に動物の剥製を見ながら学ぶことで分類についてとても勉強になった。また自分でも見学に来たい」と感想がありました。

衛生面に配慮、見学もしやすく 飼育管理室をリニューアル

本校の飼育管理室がリニューアルされ、今まで以上に衛生管理が行き届くような犬舎と設備を実現しました。

具体的には、木製のケージからアルミ製のケージにすることでより清潔な環境を維持することが可能になりました。また、床を巻き上げ式にすることで掃除が行き届きやすく、臭いが残りにくい構造になっています。

さらに、ファミリー犬の生活空間を外部の方が見学しやすい設計にし



リニューアルされた飼育管理室

た。これにより、ファミリー犬たちに負担のかかりづらい状態で見学できるようになりました。また、床材や窓枠を明るいい色にし、部屋全体が明るくなりました。

今回のリニューアルを通し、本校が求める動物福祉を意識した飼育管理室の管理運営を学生たちと一緒に実現していきます。

本校は北軽井沢地域と職業教育連携を結んでいます。その一環として、5月10日に同地域で全学科を対象とした体験学習を実施しました。

北軽井沢で全学科対象に体験学習 「バイオマス発電所」見学や交流会

午前は「バイオマス発電所」の見学と講義を受けました。バイオマスとは生物資源 (bio) の量 (mass) を表す概念で、「再生可能な、生物由来の有機性資源で化石資源を除いたもの」です。

北軽井沢 (長野原町) のバイオマス発電所は近隣の酪農家から出た牛糞を利用し発電を行う施設です。

参加した学生からは「SDGsにも貢献している活動で、発酵して発生したガスだけでなくガス以外の残渣 (ごんさ) も肥料として活用していて無駄がなく地球に良い活動だと思った」「今回を機に環境について考える良い機会

となった」「動物に関わる仕事を目指す私たちにとても勉強になった」などの声がありました。

学科超えた交流も

午後は宿泊ミーティング施設である「TAKIVIVA」でバーベキューをしながら学科交流会を行いました。準備は2年生が中心となり火起こし班、カレー班、お米班などに分かれて作業をし、学生自ら考えて積極的に動いてくれました。自然に囲まれた環境で先輩、後輩、教員関係なく楽しい雰囲気での交流ができました。

学生からは「初めて話した他学科の



「バイオマス発電所」について学んだ北軽井沢体験学習

学生と仲良くなることができた」「学年関係なく調理も後片付けも協力してできた」「困っている時、先輩たちが気さくに声をかけてくれて楽しい時間を過ごすことができた」という声を聞くことができ、初めての試みでしたが

良い交流会になりました。学校を離れての取り組みで、普段とは違う学生たちの一面も見ることができ、また新しい交友関係も生まれていました。

「獣医眼科学」の講義・実習を体験

動物看護学科2年生を対象にした獣医眼科学の講義と実習が、藤本アニマルクリニックの藤本和弘先生を講師に招き行われました。

講義では犬・猫の目の構造や役割、傷や病気があった場合の目の状態、検査の種類や方法・見方などを学びました。

実習では、目の検査を実演していただき、傷の見え方や発見方法を学ぶことができました。

その後の質疑応答の時間には、学生からたくさんの質問がありましたが、どの質問にも藤本先生が一つ一つ丁寧に答えてくださいました。



藤本先生から、目の検査方法などの指導を受ける学生たち

また、愛玩動物看護師に必要な技術や、就職してから大切なことなども教えていただき、学生の勉強に対するモチベーション向上につながりました。

動物と正しい抱え方をふれあいイベント開催

オープンキャンパスの一環として7月28日に「動物ふれあいイベント」を開催しました。

このイベントは、参加者に動物との正しい接し方を学びながら、ふれあいを楽しんでもらうことを目的としています。モルモットやウサギ、ハリスホークなどの猛禽類、ヘビなどの爬虫類とのふれあい体験やポニー引馬体験、動物たちのエサ作り体験などを実施しました。



珍しいメンブクロウモ



ポニーと学生たち

オープンキャンパス後は、一般開放も行い、近所の方々や子どもたちがたくさん来てくれました。学生たちが動物の特徴やふれあい方の説明をし、お客様対応から清掃、片付けなどの運営を担いました。当日の運営だけでなく、会場の飾りつけや設営、解説板・案内板作成など学生たちが事前準備も積極的に行いました。

新 任 職 員 紹 介

獣医師
李代 俊枝先生
(動物感染症学、公衆衛生・関連法規担当)



愛玩動物看護師育成に尽力

獣医師免許取得後、群馬県の公衆衛生獣医師として勤務していました。縁あってこの4月から本校の教務課に入職、学生の指導に当たっています。

愛玩動物看護師が国家資格となり獣医療の中で重要な役割を果たすことが求められるようになりました。人間の医療での看護師さんのように、獣医療になくてはならない愛玩動物看護師を育成する一端を担えることを光栄に思いつつ学生たちと向き合いたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。

岩崎 美香先生
(動物医療コミュニケーション担当)



今までの経験を学生に

私は、本校の前身である旧高崎ペットワールド専門学校1期生として入学し、その後、12年ほど動物病院に勤務していました。別業界の経験もありましたが、やはり動物に関わる仕事がしたいと思っていました。そこで、私の経験を学生たちに伝え、愛玩動物看護師の育成に尽力したいと思い、本校に教員として戻ってきました。

初の教職は、大変ですが、何より学生たちと接することが一番のモチベーションアップに繋がります。周りの先生にも教えていただきながら楽しく学べる授業を心掛けていきたいと思っています。

小鮎 穂香先生
(動物外科看護学担当)



分かりやすい授業を

私は、本校の動物看護学科を卒業後、動物病院とペットショップを経験し、今回教員として戻ってまいりました。今までの経験をもとに、学生の皆さんにわかりやすい授業ができたかと思っております。

趣味はソフトテニスとドライブです。ソフトテニスは幼少期から続けており、所属しているクラブではジュニアの指導に力を入れています。ドライブに行くときは、目的地を決めずに「新たな発見」を探しに出かけます。おいしいお店めぐりも大好きなのでおすすめのお店 (特に飲食店!) があれば声をかけてください。

高井 美和先生
(広報担当)



充実した広報活動を目指す

2月16日から本校の広報担当として入職させていただきました。

私は、中央情報大学 (旧: 中央工科デザイン専門学校) の卒業生で、10年たった今、こうして中央カレッジグループの職員として帰ってこれることを本当にうれしく思っています。

本校では、日々ファミリー動物に癒やされながらの広報活動に、とても充実した時間を過ごしています。アニマルカフェに行ってみたくないのでオススメのカフェを知っている方は教えてください。一生懸命、頑張りますのでよろしくお願い申し上げます。

厚生労働大臣指定 柔道整復師養成施設

CSM 中央スポーツ医療専門学校

(旧 前橋東洋医学専門学校)

〒371-0843 前橋市新前橋町21-16 TEL.027-253-1205 FAX.027-253-1230 HP.http://www.ist.ac.jp

www.chuo.ac.jp

CHUO

中央カレッジグループ

就任あいさつ

中央スポーツ医療専門学校 学校長 星野 寛一



4月より中央スポーツ医療専門学校(CSM)学校長に就任しました星野寛一です。

本校は、経験豊富な先生方の指導はもとより、実際に現場で活躍する特別講師の先生方からも学べるなど手厚いフォローが整った教育環境があります。そして、皆さんは近い将来の自己実現のために本校を選び入学しました。どうか入学動機を忘れずに日々の生活を送

ってほしいと強く思います。今年7月から8月にかけてパリ五輪が開催され、日本選手団(Team

JAPAN)は「一歩、踏み出す勇気を。」をコンセプトに掲げました。TEAM JAPANのアスリートたちは、本番で活躍する姿を通し、スポーツに限らずさまざまな分野で「一歩、踏み出す勇気」を届けてくれました。

目標に向かって挑戦と努力を

アスリートは、歩みを止めなかった人のことです。挑戦をリスクと捉えず目標に向かって苦しくても努力しています。

私たち「TEAM CSM」も、これまで以上に踏み出す勇気を持ち、何事にも前向きに取り組んでいきましょう。

頑張ってます！卒業生



えんじよい整骨院(みどり市)
院長 大澤 弘治さん
(2010年卒業)



よこやま接骨院(前橋市)
院長 横山 和弘さん
(2006年卒業)

来院者の笑顔が励みに

▽柔道整復師を目指したきっかけ
高校入学式の次の日に部活で骨折をしてしまい、お世話になった接骨院の先生を見て、自分もその先生のように誰か困っている人を助けたいと思ったのがきっかけです。

▽学生時代に頑張ったこと
とにかく専門科目の勉強を頑張りました。慣れるまでが大変でした。

▽仕事のやりがい
痛そうにしている人や辛そうな人に笑顔になっていただけること。現場では、たくさんのお会いがあり、自己成長につながります。

やりがいのある仕事

▽柔道整復師を目指したきっかけ
小学生のころからお世話になっていた接骨院の先生がサッカーのトレーナーをやっていて、そんな姿に憧れて柔道整復師を目指そうと思いました。

▽学生時代に頑張ったこと
接骨院でアルバイトをしていました。その中でも治療法について頑張って勉強しました。

▽仕事のやりがい
自分のやりたいことがしっかりとできていけば、やりがいを感じられる仕事だと思います。

在校生インタビュー

加藤恵梨奈さん

(3年生、埼玉・小鹿野高校出身)

時間を有効活用、仲間と交流

▽一人暮らし応援プログラムを利用している、メリットは一人暮らしをすることで今まで家族がしてくれていたことを自分でするようになりました。最初のころは大変でしたが、今では学校と日常生活の両立ができています。



また、通学時間も短縮でき、勉強時間も多くとれて、その分だけ時間を有効に使うことができています。

▽学校生活で楽しいこと
友達と会話することが楽しいです。休み時間に、友達とたわいのない話をし、柔整ならではの包帯の巻き方、テーピングの仕方などお互いにアドバイスをしながら、日々高め合っています。

接骨院など 県外9社参加 体験型の就職ガイダンス



好評だった体験型の就職ガイダンス

2・3年生を対象にした就職ガイダンスが6月24日に行われました。接骨院を経営している群馬県外の企業9社が参加し、今回初めて体験型の形式で行いました。

学生たちは、ガイダンスの事前学習を行い興味のある企業を選択し、施術を受けました。短い時間でしたが、施術体験は真剣で、質問する様子もみられました。ガイダンス後に企業見学に

つながった学生が多くみられました。また、9月10日には、群馬県内の接骨院に参加していただき、体験型就職ガイダンスを開催する予定です。群馬県内外の多くの企業を知ること、資格取得後の就職の選択肢が広がるのではないかと思います。多方面で活躍する卒業生のように、資格をさまざまな場面で生かして頑張りたいと思います。

練習の成果実り全員合格 柔道昇級・昇段審査

柔道の昇級・昇段審査が8月1日に行われました=写真。

昇級審査には1年生22人が挑みました。審査内容は、立礼・座礼・後ろ受け身・側方受け身・前回り受け身・乱取りです。柔道を始めて4カ月の学生がほとんどですが、練習の成果を発揮して全員合格することができました。昇段審査には3年生6人が挑戦しま



した。審査内容は、乱取りと投げの形9種が行われ危なげなく全員合格しました。3年生は11月に行われる認定実技審査に向けて、よいスタートが切れました。

慈恵医大の標本館など見学 1年生が国内研修旅行

1年生の国内研修旅行が、8月8日に行われました。

最初に東京慈恵会医科大学標本館で標本の見学をしました。ここでは、液浸標本350点、乾燥標本250点、医動物学標本500点、薬用植物標本230点が陳列されています。

見学に際して、学生たちは、献体された故人・遺族の意思を尊重し、敬う気持ちで臨みました。

学生の中には、その場で真剣にスケ



国内研修旅行で貴重な体験

ッチする姿もみられ、実際に実物標本を見ることで医学の知識が深められたようでした。その後、学生たちは「アクアシティお台場」を訪れ、楽しみました。

学校法人 有坂中央学園 高等学校卒業と専門知識・技能の取得

CHS 中央高等専修学校

前橋・〒371-0842 群馬県前橋市下石倉町31-20 TEL.027-253-5596(代) FAX.027-280-5270

クラーク記念国際高等学校連携校

http://chs-clark.jp

CHUO

中央カレッジグループ

夢抱き49人が学び舎に

令和6年度がスタート

クラーク記念国際高校連携校・中央高等専修学校の令和6年度が、入学式や新入生歓迎会でスタート。新たな仲間も加わった本校では授業のほか各種行事も始まっています。

新たな発見と感動を

入学式

第26回入学式が4月13日に群馬県公社ビル多目的ホールで行われ、49人の新入生が新たな仲間に加わりました。

厳粛な中で行われた入学式では、呼名された新入生に対し、須川清学校長が入学許可を宣言。新たな仲間、「笑

顔とあいさつを忘れず、新たな発見と感動を体験してほしい」と励ましの言葉が送られました。

在校生の歓迎の言葉を受け、新入生代表の加藤菜々美さんと森悠美子さんから、「勇気をもって一歩前に踏み出せると決意し入学しました」「資格取得や学校行事、日々の学習に全力で取り組んでいきたい」と誓いの言葉が読み上げられました。

共同作業で交流を深める

新入生歓迎会

新入生にとっては初の大きな行事となる新入生歓迎会が4月26日に、国立赤城青少年交流の家で開催され、カレ

ー作りを通じて、新入生と2・3年生が交流を深めました。

先輩の2・3年生からは「たくさんの新入生が入学してくれてうれしい。これから一緒に学校生活を楽しく送っていききたい」と、喜びの感想が出ていました。

インターアクトクラブ

結成20年を迎える

～1年間の活動計画～

2004年に前橋南ロータリークラブの提唱によって結成された本校のインターアクトクラブは今年で20周年を迎えます。途中、コロナ禍による活動の中断はありましたが、年を重ねるごとに充実した活動が行えるようになりました。

ボランティア活動を通じて、生徒は『自分自身で考え行動する』『他のメンバーと話し合い、より良い活動方法を検討・実施する』など、勉強では得られない、非認知能力の向上を図ることができています。

コロナ禍を経て、中断していた国際交流も再開する予定です。台湾のインターアクトクラブと、ホームステイなどを通じて文化交流や国際理解・国際協力を行います。

今後もインターアクトクラブの活動を通じて、社会によりよく適応できる

【活動計画】

6月末	インターアクトクラブ入会式	新入生にインターアクトクラブの意義・活動内容などを説明します。
7月中旬	インターアクトクラブ年次大会	群馬県下17校のインターアクトクラブが一同に会し、年間の活動状況や目標などを発表します。
8月	前橋公園ビオトープ・噴水等の清掃	前橋公園の池や噴水など、水辺の清掃・整備を行います。
9月上旬	地域清掃活動	学校周辺の清掃活動を行います。
11月3日	ぐんまマラソンボランティア	ぐんまマラソンのボランティア活動に参加し、メインスタンドでの運営補助や、沿道での給水活動などを行います。
12月中旬	門松作成・門松設置、老人ホーム慰問活動	門松作成を通じ、日本の伝統文化を学びます。また老人ホーム等で作成の実演し慰問活動を行います。
3月	国際交流事業：台湾研修	台湾にて3泊4日の研修を行います。ホームステイを含みます。
4月	国際交流事業：台湾生徒受入	台湾の生徒を受け入れます。こちらもホームステイを含みます。

よう、非認知能力の向上につなげていきます。

覚障がい者への支援活動を行う。コンタクトレンズ販売のアイシティの活動に参加。

- ・エコキャップ運動
ペットボトルのキャップを回収することで、資源の分別に協力しつつ、その利益からポリオワクチンを発展途上の地域に送り、ポリオ根絶を目指す活動に参加。
- ・災害などに対する募金活動

年間を通じて行う活動

- ・前橋公園グリーンプロジェクト
前橋公園にて種まき、花苗植え、草むしり、ホタルのための水路・池清掃など。
- ・コンタクトレンズ空ケース回収
使い捨てコンタクトレンズの空ケースを回収することで、プラスチックのリサイクル、またその利益から、視



入学式で誓いの言葉を述べる新入生代表

作詞・作曲の高橋さんらが歌唱指導 特別講話『校歌について』開催



本校の校歌を作詞作曲した高橋晃さんと歌手の沢田知佳さんを講師に招き、校歌の歌唱指導を兼ねた特別講話が、6月17日に行われました＝写真。長年続いたコロナ禍のため、在校生はほとんど校歌を歌ったことがありませんでした。そこで校歌作成者の高橋

さんから校歌誕生のいきさつを説明していただき、沢田さんから歌唱のポイントなどを教えていただきました。

高橋さんの息子さんも本校の卒業生で、その息子さんとの生活を思い出しながら作詞作曲したそうです。歌詞の1番は親への感謝、2番は先生への感謝、3番は友達への感謝が歌われています。

支えてくれた周りの人たちへの感謝の気持ちを込めて校歌が作られたという説明に、生徒たちもその内容をしっかり理解し、大きな声で気持ちを込めて歌えるようになりました。

ベーシックコースを改編 学びの場ANNEX整備

本年度からベーシックコースを、より多くの学び方のニーズに応えられるよう改編。また、グループの2号館2階を新たな学びの場ANNEXとして新設、整備しました＝写真。

ベーシックコースは週1～3日までの登校を選ぶことができ、週の登校スケジュールを先生と生徒で相談して決定し、登校しない日はアルバイトや自分のやりたいことに時間を



使うことができる仕組みです。他の通信制高校と違い、対面授業や、ホームルームも充実しています。また、体育の実技や行事は全日型スタイルの生徒とともに参加することができるので、充実した高校生活を送ることができます。

平和への誓いを胸に 3年生が沖縄修学旅行

3年生が、6月4日から2泊3日の沖縄修学旅行に行ってきました。

エメラルドグリーン的大海と白い砂浜を体感、ひめゆり学徒・平和の礎・嘉手納基地などについて平和学習。アメリカンビレッジ・国際通りで独特の文化を学び、新しくできた「かりゆし水族館」も楽しんできました。



思い出刻んだ沖縄修学旅行

初飛行機・初宿泊の生徒もいましたが、笑顔と思考の3日間を過ごし、最高の思い出を作ることができました。



〒371-0844 群馬県前橋市古市町1丁目49-3 TEL.027-256-7200 FAX.027-256-7201

www.chuo-gaigo.com



中央外語学院恒例のサマーデイキャンプが、7月末から8月上旬にかけて、前橋市嶺町の「CHUO Global Village (前橋英語村)」で開催され、英語を通して楽しい夏の思い出をつくりました。

今年のサマーデイキャンプには、「英語が通じる喜びを体験して、好きになる!」をテーマに、園児から小学生まで、合計177人の子どもたちが参加しました。

同キャンプでは、外国人講師と一緒に、まるで海外旅行に行ったような気分、英語での会話やクラフト、科学実験、クッキングなどのアクティビティを体験しました。

宝探しゲームでは、英語のヒントを頼りに宝物を探し出し大興奮。くす玉割りゲーム「ピニャータ」では、みんなでピニャータを叩き壊し、出てきたお菓みに大喜びしました。

参加した子どもたちは皆、英語に触れながら、笑顔いっぱいの充実した一日を過ごしていました。



「自然の中でいろいろなものを集める」 「スカベンジャーハント」

英語村でサマーデイキャンプ

子どもたち177人が楽しく 英語とアクティビティ体験



クラフト体験も楽しく



くす玉割りゲーム「ピニャータ」



ファストフード&ランチも自分たちで注文



宝探しゲームも体験

資格の学校 TAC 群馬校

お申し込みお問い合わせは資格の学校TAC

〒371-0805 群馬県前橋市南町3-14-1 TEL 027-226-1823 FAX 027-243-5300

資格で未来を切り開け

「働き方も生き方も意思を持って選び取る時代。自分らしい未来図を思い描こう」。

決まったキャリアパスがない自由な時代だからこそ、将来のビジョンを具体的に描き、自分らしいキャリアを選

びとっていくことが大切です。

資格取得したら、そこから新たなステージが広がっていきます。ぜひ、かけがえのない第一歩を資格で踏み出してください。



多彩な講座で受験者に対応するTAC群馬校

2025年度合格目指し 公務員対策講座開講

本校では、2025年度合格目標の公務員試験対策を順次開講しています。

就職先として一番の人気の公務員。民間就職を意識しながらも公務員受験を併願する学生が増えています。

群馬校では、県内各大学向けにカスタマイズして、大学独自のオリジナル公務員講座を展開しています。5月開講の高崎経済大学を中心に、群馬大学・県立女子大学などでも順次開講中です。高崎経済大学では、167人の方が講座を受講しており、県内外、国家公

務員や地方公務員を目指して日々、学習に取り組んでいます。

群馬大学では、6月に公務員ガイダンスを荒牧キャンパス・桐生キャンパスの学生にオンデマンドで実施。

県立女子大学でも、公務員採用試験の最重要科目である「数的処理講座」を合格に向け実施中です。

本校では、一人でも多くの方が最終合格を手にするよう、とことんサポートしていきます。

公務員模擬面接の実施

公務員試験合格に向けて最重要課題である面接。

群馬校では「とことん面倒を見る」という姿勢で高崎経済大学の学生に6～8月の間、集中的に模擬面接を実施。4人の就職サポーターで北海道から沖縄までの受験先に応じて、エントリーシートの記入から礼儀作法、模擬面接内容まで細部にわたり合格に向けたアドバイスを実施しています。

TAC群馬校取り扱い講座

【会計・経営・労務関係】

公認会計士・税理士・簿記検定・社会保険労務士・建設業経理士・中小企業診断士・FP・証券アナリスト

【法律・公務員関係】

行政書士・ビジネス実務法務検定公務員(地方上級・国家一般職)理系公務員(技術職)警察官・消防官

【不動産関係】

不動産鑑定士・宅地建物取引士マンション管理士・管理業務主任者

【情報処理・パソコン関係】

ITパスポート・基本情報技術者

資格・検定紹介

「第三種冷凍機械責任者」

冷凍機械責任者とは、「高圧ガス製造保安責任者」という国家資格の区分のひとつで、冷凍機器の設備管理・保安にかかわる資格です。

第三種冷凍機械責任者は1日の冷凍能力が100t未満の製造施設において、設備の保守・管理ができます。工場や倉庫などの施設で冷凍設備の管理や保守、点検立会や監督、メンテナンス業務などを行います。

また、冷凍設備には高圧ガスを使用するような業務用の大規模な空調設備も含まれます。

〈取得するメリット〉

- ・ビルメン4点セットの資格のひとつ、転職や昇格・キャリアアップに有利に。
- ・冷凍機械や空調機械についての知識、技術レベルが公的に証明される。
- ・就職・転職の際の選択肢が広がる。

お得な講座キャンペーン情報

TAC群馬校割

- 対象：全講座(通学・通信)
- 期間：随時
- ・通常受講料から5%割引
- ・入会金10,000円免除